

国保証取り上げ5年で6倍に 大阪府

短期証 資格証の発行やめて

払える国保料に値下げを

相次ぐ国保料の値上げで負担は限界。払いたくても払えない滞納者は毎年増え続けています。そして、短期証が発行されたり、保険証を取り上げて、病院の窓口でいったん医療費の全額を患者が支払わなければならない資格証の発行。



その結果、経済的困窮から保険料を払えない人が病院に行くのを我慢した末、手遅れで死亡する不幸な事態が全国で相次いでいます。

国保料がこんなに高いのは、政府が国保への国庫負担の削減を続けるなかで、市町村の国保財政が悪化し、それを府民に負担転嫁してきたからです。

日本共産党は、国の負担を元通りに引き上げるとともに、大阪府と市町村の努力で保険料の引き下げや減免制度の改善など、府民の負担を減らすことを求めています。なによりも、命を奪うことにもつながる資格証の発行は、ただちにやめるべきです。

誰がこんなことに？ 自民・公明・民主が推進

資格証明書の発行は、1997年の国保法改悪で自治体に義務付けられ、自民、民主、社民の各党 = 当時が賛成しました。大阪でも、これらの党はこんな冷たいやり方を後押ししてきました。

資格証明書の発行の完全実施を

(平成11年2月福祉保健常任委員会-北川イッセイ・自民党府議)
「この資格証明書の発行を完全実施できるのかどうか、そこらのところをお答えいただきたいんですが。」

差し押さえまだまだ不十分

(平成16年2・3月定例会 紀野敏明・民主党大阪府議)
「何でもかんでも差し押さえせえとか処分せえというふうなことではないですけども、一方で税なんかと比較しますと、その対応というのはやはりまだまだ十分な対応になっておらないのではないかというふうに思います。」

短期証・資格証の活用、滞納処分を

(平成16年2・3月定例会常任委員会・金子光良・公明大阪府議)
「本市では、収納率向上のための対策として、...短期有効期限被保険者証や資格証明書を活用し、それでも納付に応じない世帯に対しましては滞納処分を推進していると聞いております。このような取り組みにもかかわらず、収納率が大きく低下している原因をどのように分析しておられるのか」

保険料を減免してほしい・保険証がほしい
すぐに日本共産党へご相談ください